

研究業績記載上の注意

1. 作成するソフトは、必ず、Microsoft Excel でお願ひします。
2. 書式は、医学部図書館 HP > 紀要・業績集 > 提出原稿書式(Excel)をダウンロードしてご入力ください。
3. フォントの設定は次のようにしてください。
 - (1) フォント MS ゴシック
 - (2) 点検・評価等シート

講座, 部門, 施設名称	16pt
項目	14pt
本文	10pt
 - (3) 業績シート

本文	10pt
----	------
4. Excel ファイルのセルの幅は書式のまま固定とし、幅の調整はしないでください。高さの調整を行って文字を表示させてください。
5. 著者, 題, 学会名, 年, 巻, 頁, 月 等の記載順・記載方法は、作成上の指針, 書式の説明等を参照してください。
6. 1. 論文は次の要領で分類し、印刷中(in press)及び刊行に先駆けたオンライン版での先行公開(Online ahead of print, Early Online, Online First 等)は除外してください。
前年記載のものと同重複がないように注意してください。
査読制度を経て掲載されたかの有無で分けて記載してください。
 - (1) 原著論文
研究背景から目的及び方法が明確に示され、研究成果に基づいた考察が十分なされている、独創性、新規性のある学術論文。
 - (2) 総説及び解説
総説: 特定の分野や主題について、関連文献、資料に基づいて総括的に論評したもの。レビュー。
解説: 特定の分野や主題について解説したもので、必ずしも文献引用の必要はない。
 - (3) 症例報告
1 例ないし数例の特定疾患の病態、診断、治療、予後などに関する臨床経過報告を主たる内容とするもの。
 - (4) 著書
単行本として出版された論文、総説、解説、教科書等の分担執筆を含む。
 - (5) レター
手紙形式かつ速報性が高いもので、問題、解決方法と結果の概略、あるいは新しい問題などが論じられる。
 - (6) 国際学会発表プロシーディング(抄録集)
国際学会発表の Proceedings, 抄録集, 会議録。
 - (7) その他
研究成果報告書, 調査報告書, 症例検討会, Q&A 等。
7. PubMed に収載されている論文は、F 列内に PMID を記載してください。

8. 刊行形態がオンラインのみである場合は、H 列に「E Only」を選択して記載してください。冊子体、オンライン共に刊行される場合は空白です。刊行に先駆けたオンラインでの先行公開は含みません。Impact Factor, 四分位(Quartile)があるジャーナルについて、G 列に記載してください。作成する年度の前年のものとします。分野が複数にわたる雑誌の四分位(Quartile)は、ランクの高い方を記載してください。
9. 2.学会報告は、(1)国際学会 (2)国内学会 (3)国内地方会 (4)研究会 (5)その他 に分けて記載してください。さらに作成上の指針に定める i ~ iii に分けて記載とし、iii 一般演題は査読制度を経ているかの有無で分けてください。
座長・司会・オーガナイザー等は含みません。
10. 6.その他には 1.~5.の項目に含めることが出来ない研究業績を記載してください。新聞、学術雑誌(学会誌・商業誌・紀要等)以外の雑誌に掲載の記事、座談会等、テレビ、ラジオ等のメディア出演、受託業務等。
11. 共著者等に本学医学部内の他講座の研究者がいる場合は、D 列に「*」を選択して記載してください。
12. 研究情報備考として下記の情報を、I~M 列に選択して記載してください。複数該当する場合は列挙してください。
A:本学他学部(人文社会学部・地域教育文化学部・理学部・工学部・農学部)の研究者が含まれる
B:他大学・病院等の研究者が含まれる
C:民間共同研究
D:国際共同研究
E:留学先・出向先で行った等、講座等の仕事ではない
(なお、転出しているが、山形大学で受託研究費や科研費等があり発表した業績は本学の業績となるため、E は記載しません。)
13. EndNote をご利用の方へ。参考までにですが、山形大学医学部研究業績集は Vancouver style を採用しております。

※フォント、掲載順 等を厳守してください。

タイプミスなどもチェックしてから提出してください。

そのまま製版になるデータですので、必ず入念な確認をお願いします。